

保険薬局が両立支援をする上で見えてきた課題 ～ つながりの重要性 ～

もみじ薬局 両立支援コーディネーター

馬場元博

働く世代の健康を支援する ～産業薬剤師活動～

活動の3つの柱

①健診支援 (2次予防)

がん検診やNCDに対応。
職域の問題点を克服する。
(新しい取組)

検査法の物理的理解が基盤

②両立支援 (3次予防)

働くこと・生活すること
を考慮した薬物療法の
確立・指導

職場への情報提供
(新しい取組)

③化学物質管理 (1次予防)

法令順守から自立的管理
への転換
中小企業の活動を支援する
(新しい取組)

健康管理と作業環境管理
の統合

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 衛生学・健康増進医学 堀内 正久 K-OPT資料より編集

働く世代の健康を支援する ～産業薬剤師活動～

活動の3つの柱

①健診支援 (2次予防)

がん検診やNCDに対応。
職域の問題点を克服する。
(新しい取組)

検査法の物理的理解が基盤

②両立支援 (3次予防)

働くこと・生活すること
を考慮した薬物療法の
確立・指導

職場への情報提供
(新しい取組)

③化学物質管理 (1次予防)

法令順守から自立的管理
への転換
中小企業の活動を支援する
(新しい取組)

健康管理と作業環境管理
の統合

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 衛生学・健康増進医学 堀内 正久 K-OPT資料より編集

鹿児島県の全産業の現状

産 業 別	総 数		1～4人		5～9人		10～29人	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
A～E 全 産 業	75,443	669,456	44,763	94,496	14,818	96,882	11,706	187,989

産 業 別	30～99人		100～299人		300人以上		出向・派遣従業員の多	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
A～E 全 産 業	3,129	150,997	531	83,824	95	55,301	401	6

鹿児島県の全産業

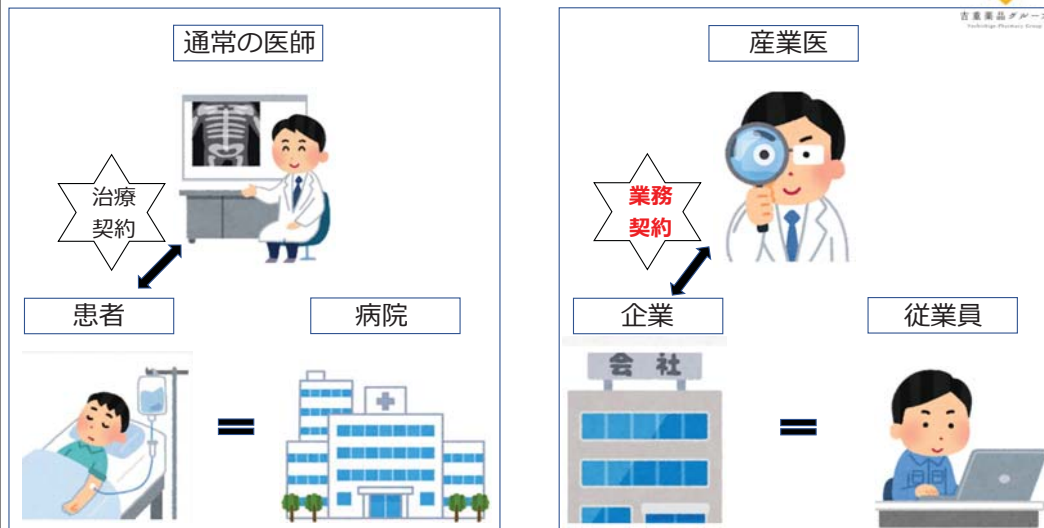
総事業者数：75443件（従業員数：669456人）

1人～29人の事業所

事業者数：71287件（従業員数：379334人）

鹿児島県労働局職業安定部より引用

産業医とは??



従業員数	産業医の数	
	通常の職場	有害業務に従事している 従業員がいる職場
50人未満	選任義務なし	
50人～499人	嘱託産業医が1名以上	
500人～999人	嘱託産業医が1名以上	専属産業医が1名以上
1000人～3000人以下	専属産業医が1名以上	
3001人以上	専属産業医が2名以上	

Carelyより引用

鹿児島県の現状

産業別	総数		1～4人		5～9人		10～29人	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
A～E 全産業	75,443	669,456	44,763	94,496	14,818	96,882	11,796	187,986

産業別	30～99人		100～299人		300人以上		出向・派遣従業員のみ	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
A～E 全産業	3,129	156,992	531	83,824	95	55,301	401	6

鹿児島県の全産業
事業者数：75443件（従業員数：669456人）

1人～29人の事業所
事業者数：71287件（従業員数：379334人）

鹿児島労働局職業安定部より引用

50名未満の事業者はどうすればいいのだろう？



保険薬局でも
出来るのでは？



「地域産業保健センター」は
労働者数 50 人未満の
職場における健康づくりを
「無料」でお手伝いします！

**健康診断結果の
意見聴取
(就業判定)**
健康診断で異常所見のあった労働者の就業の可否や健康保持のため
の対応策などについて、医師に意見を聴きます。
(法律により事業主に義務づけられています)

**健康管理に
係る相談**
健康診断で異常所見があった労働者に対して、医師や保健師が日
常生活面の指導や健康管理に関する相談を行います。また、メンタ
ルヘルス不調を感じている労働者に対しても相談を行います。

**長時間労働者
に対する面接**
時間外・休日労働が長時間に及ぶ労働者に対し、医師が面接指導
を行います。
(法律により事業主に義務づけられています)

**高ストレス者
に対する面接**
ストレスチェックの結果、高ストレスであるとされた労働者に対し
、面接指導を行います。

**訪問による
産業保健指導**
医師、保健師または労働衛生工学の専門家が、事業場を訪問し、作
業環境管理、作業管理、健康管理等の状況を踏まえ、総合的な助言・
指導を行います。

独立行政法人 労働者健康安全機構
鹿児島産業保健総合支援センター
〒890-0052 鹿児島市上之郷町 25-1 中央ビル4 階
TEL : 099-252-8002 FAX : 099-252-8003

鹿児島産業保健
センター

詳しくは、HPで確認ください。



事業主は、労働安全衛生法により「労働者の安全・健康を守る義務」があります。
健康で活力ある職場づくりのために地域産業保健センターを活用しましょう！

鹿児島県内 地域産業保健センター所在地一覧

ご利用のお申込みは、裏面の様式にご記入の上、事業場所在地のあるセンターへお願いいたします。

センター名	所在地	電話番号など	管轄地域
鹿児島地域 産業保健センター	〒892-0846 鹿児島市加治屋町 3-10 鹿児島市医師会内	TEL : 099-226-3801 FAX : 099-226-3801 携帯 : 070-2197-8596	鹿児島市、鹿児島県 白糠市、いちき串木野市 指宿市、西之表市、熊毛郡
北薩地域 産業保健センター	〒895-0076 薩摩川内市大小路町 70-26 川内市医師会内	TEL : 0996-21-1900 FAX : 0996-21-1907 携帯 : 070-2197-8597	阿久根市、出水市 薩摩川内市、さつま町 長島町
鹿屋・肝属地域 産業保健センター	〒893-0064 鹿屋市西原 3-7-39 鹿屋市医師会内	TEL : 0994-40-5441 FAX : 0994-40-5441 携帯 : 070-2197-8598	鹿屋市、垂水市、肝付町 錦江町、南大隅町、東串良町
姶良・伊佐地域 産業保健センター	〒899-5106 姶良市華人町内山田 1-6-62 姶良地区医師会内	TEL : 0995-42-9913 FAX : 0995-42-9913 携帯 : 070-2197-8599	鹿児島市、伊佐市、姶良市 湧水町
南薩地域 産業保健センター	〒897-0001 南さつま市加世田村原 1-3-13 南薩医師会内	TEL : 0993-53-7601 FAX : 0993-53-7601 携帯 : 070-2197-8600	枕崎市、南さつま市 南九州市
曾於地域 産業保健センター	〒899-8212 曾於市大隅町月野 894 曾於医師会立病院内	TEL : 099-482-0234 FAX : 099-482-0234 携帯 : 070-2197-8601	曾於市、志布志市 大崎町
大島郡地域 産業保健センター	〒894-0035 奄美市名瀬塩浜町 3-10 大島郡医師会館内	TEL : 0997-53-1993 FAX : 0997-54-0597 携帯 : 070-2197-8602	奄美市、大島郡



働く世代の健康を支援する ～産業薬剤師活動～



活動の3つの柱

①健診支援 (2次予防)

がん検診やNCDに対応。
職域の問題点を克服する。
(新しい取組)

検査法の物理的理解が基盤

②両立支援 (3次予防)

働くこと・生活すること
を考慮した薬物療法の
確立・指導

職場への情報提供
(新しい取組)

③化学物質管理 (1次予防)

法令順守から自立的管理
への転換
中小企業の活動を支援する
(新しい取組)

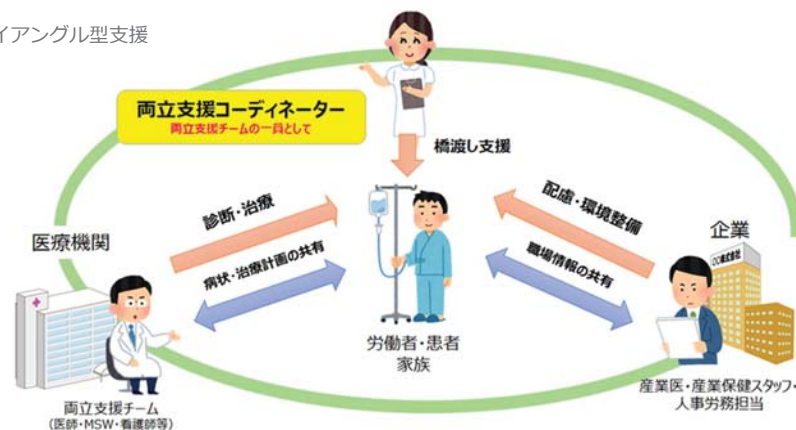
健康管理と作業環境管理
の統合

鹿児島大学大学院医学総合研究科 衛生学・健康増進医学 堀内 正久 K-OPT資料より編集

両立支援コーディネーターとは？

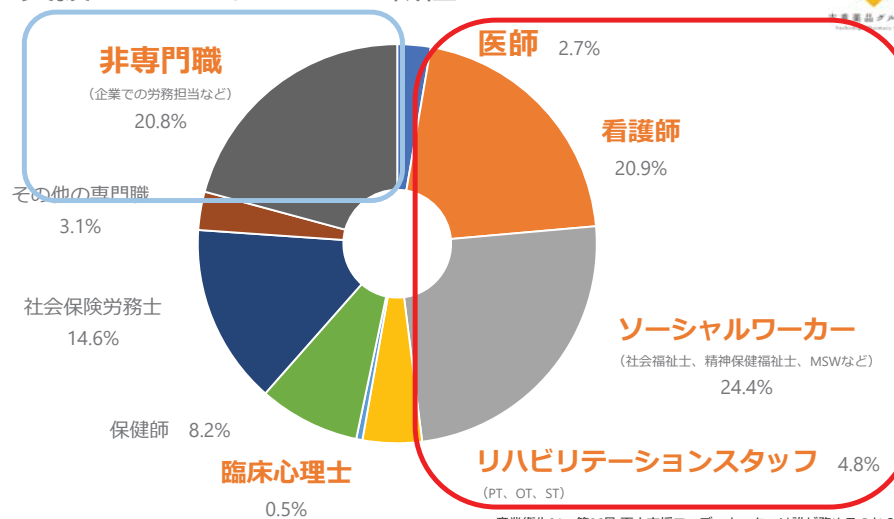


トライアングル型支援



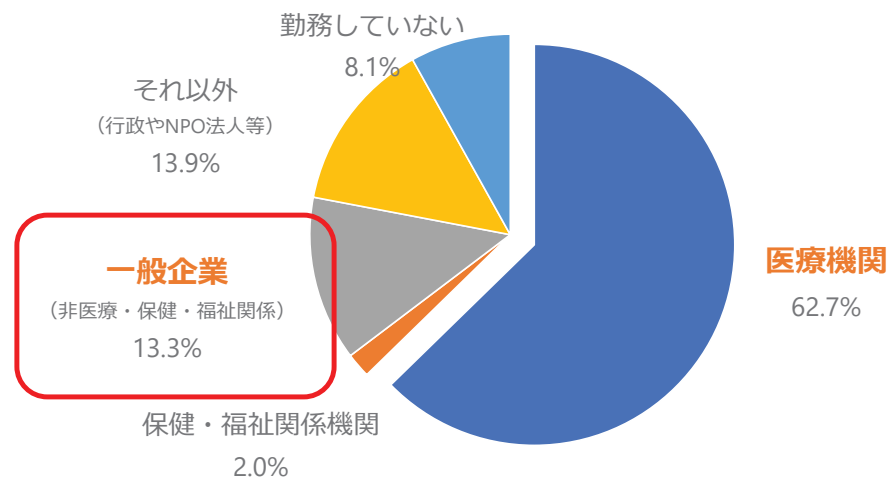
独立行政法人労働者健康安全機構

両立支援コーディネーターの職種について



産業衛生21 第96号 両立支援コーディネーターは誰が務めるのか？

両立支援コーディネーター在籍について



労災病院等医学研究・両立支援報告 両立支援コーディネーター基礎研修修了者の実践状況について

両立支援コーディネーター

相談者に対応する両立支援コーディネーター



治療を行う医療機関に在籍していることが多い
企業の労務担当などが対応することが多いことが分かる

ふと疑問に思ったこと・・・

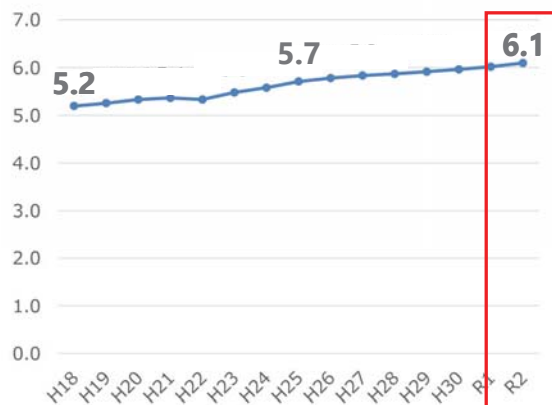
企業の労務担当は病気のこと、治療内容、薬の副作用は分かるのだろうか？



街中で相談しやすい医療者はいないだろうか？⇒保険薬局はどうだろうか？



薬局数の推移（万）



※宮城県及び福島県の一部は集計されていない。

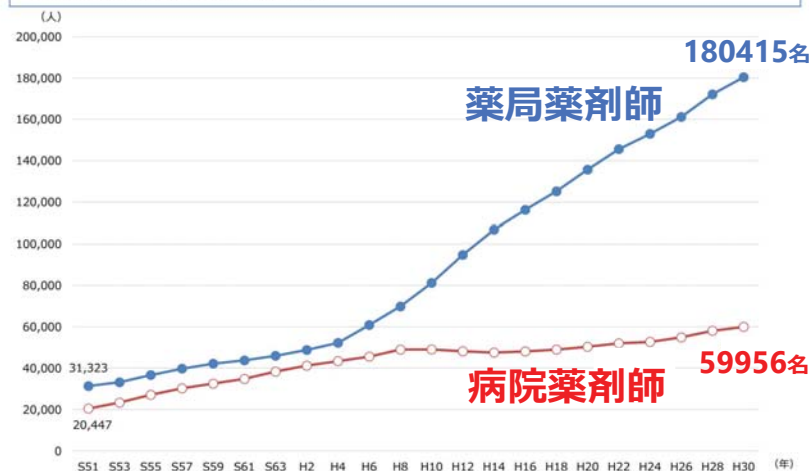
出典）衛生行政報告例

参考：一般診療所102,616施設、病院8,300施設
（令和元年10月1日現在：令和元年医療施設調査）



薬局・医療施設に従事する薬剤師数の推移

○ 薬局の薬剤師数が大きく増加している。



（出典）医師・歯科医師・薬剤師統計



保険薬局の薬剤師



服薬指導とは

患者さんに適切な薬物治療を提供するために、薬剤師が服薬方法や取り扱いについて説明すること

- ・ 患者との信頼関係（つながり）を作ること
- ・ 顔が見える関係を作ること
- ・ 医療機関でもなく、会社でもない、生活圏に近い存在であること

お薬の話だけでなく、治療に対する不安、仕事に対する不安などに発展

両立支援と服薬指導



これまでの服薬指導

高血圧治療の初回患者
降圧薬服用開始に伴う注意点
「立ち眩みやふらつきに注意」

漠然とした注意喚起を行っていたため、伝わりにくい説明になっていた

学習してからの服薬指導

高血圧治療の初回
お仕事は何をされていますか？
高所作業等がありますか？
暑い場所での作業は？

より具体性を持って仕事の状況から注意点を説明するようになった

K-OPT
研修

両立支援について
学ぶことによって

薬の説明をするうえで、患者の生活（仕事）との関連を確認するのは当たり前
両立支援を勉強することで、服薬指導に対する意識改革に！

症例：大腸がんの術後、職場復帰を検討する女性

保険薬局

【病名】大腸がん

【経過】医療機関にて手術を実施、早期がんであり手術により完全に切除
術後補助化学療法
カペシタビンによる8クールの外來化学療法を実施中

【職業】保育士（50代 女性）

【職場】復帰を求める声が届いている

【希望】本人も仕事に復帰したいと考えている

【不安】手術は成功したとはいえ、体調面では本調子ではない



症例：大腸がんの術後、職場復帰を検討する女性



服薬指導によるお薬の説明、副作用確認等を行い経過する中で・・・

治療終了、復職に向けて本人が感じ始めた不安

■ 職場復帰を考えているが、現在の体調でどこまでできるか不安

元気なころの自分と同じレベルで作業を求められら応えられない

■ 治療終了後は、どこを頼って相談をしたらよいのか分からない

補助療法終了後は近隣のかかりつけ医に受診、手術した医療機関へは半年ごとの検査のみ

■ 事業所に対して相談しようにも誰に相談したらよいのか分からない

園長に相談することになるが、本音を話せるか心配

症例：大腸がんの術後、職場復帰を検討する女性



両立支援コーディネーターの資格を取ったものの・・・

■ 情報を収集することはできたが、事業所に情報提供できなかった

自分たちでどこまでできるか不安がある

またどのように名乗って事業所に情報提供して良いか分からない

■ 相談窓口としての機能としては十分に発揮できるのではないか

医療機関ではできないこと、職場ではできない相談を話していただけた

■ 地域（生活圏）に相談できる場があることは大切

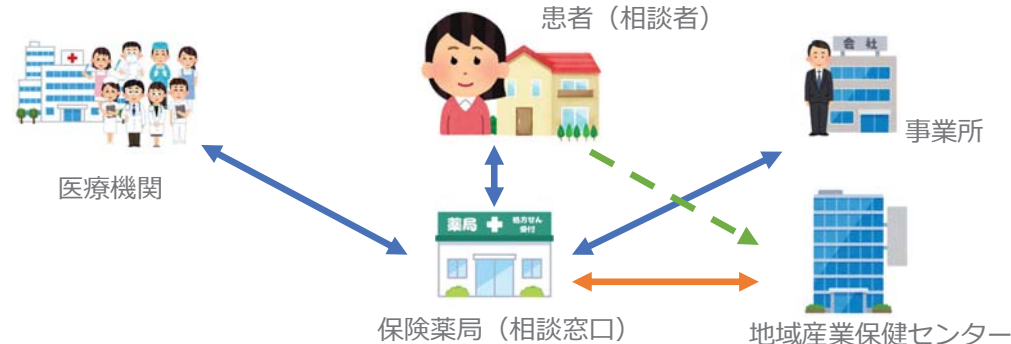
医療機関退院・通院終了後、どこに相談して良いか分からない現状がある

症例のまとめ



50名未満の事業所が多い地域においては

患者（相談者）

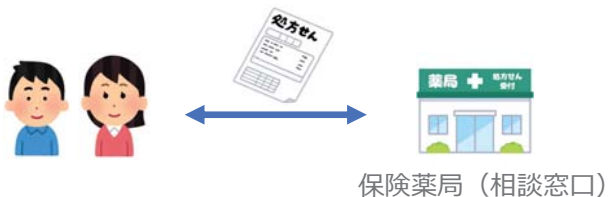


地域の中に相談できる場があることは患者（相談者）にとって大切な存在
地域産業保健センターと連携（つながり）を持って対応することがベスト

症例のまとめ



保険薬局の薬剤師が両立支援コーディネーターを取得したからといって
経験値が少なく、まだまだ何かできるわけではない



相談者（主に患者）が、相談をする場としては機能することができる

→退院して、一番最初に接するのは薬局薬剤師であり、その後も変わらず**つながり**を持てる

症例のまとめ



保険薬局の薬剤師が両立支援コーディネーターを取得したからといって
経験値が少なく、まだまだ何かできるわけではない



相談者（主に患者）が、相談をする場としては機能することができる

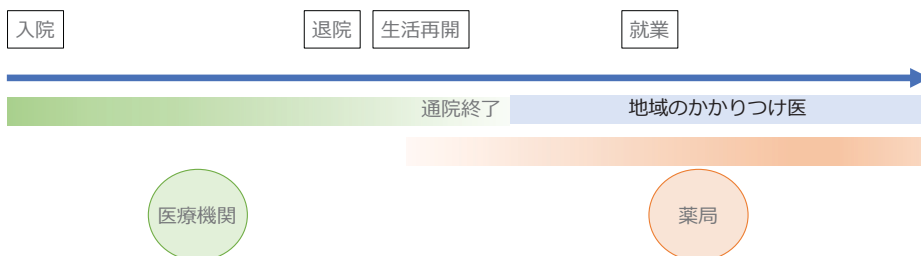
→退院して、一番最初に接するのは薬局薬剤師であり、その後も変わらず**つながり**を持てる

対応策：地域産業保健センターの出張窓口のようなイメージで、地域産業保健センターと連携

症例のまとめ



患者の生活は、入院、通院、生活再開、就業とつながっているのに対して
両立支援として関わるスタッフは



相談者は、入院と通院中は、医療機関で相談できるが、その機会は減る傾向にある

→実際は、生活再開、もしくは再開が近くなるにつれ不安や相談は生じてくるように感じる

症例のまとめ



患者の生活は、入院、通院、生活再開、就業とつながっているのに対して
両立支援として関わるスタッフは



相談者は、入院と通院中は、医療機関で相談できるが、その機会は減る傾向にある

→実際は、生活再開、もしくは再開が近くなるにつれ不安や相談は生じてくるように感じる

対応策：退院時に両立支援コーディネーター在籍薬局の紹介、退院時カンファレンスでの情報共有

まとめ



保険薬局薬剤師が両立支援コーディネーターとして相談者を支援するためには

- 1) 地域の方々に、薬局でも両立支援ができる旨を啓発する必要
- 2) 単独で支援するのではなく、地産保と連携した支援を目指す
- 3) 薬剤師がまだまだ両立支援という意識が無い
研修会等を通して、患者の生活（仕事）という視点を持つ

多職種連携という形で、働く世代の支援の一助に成れたらと思います